

1 月 7 日 : VN 指数は辛うじてプラスを維持 (VN-Index +0.05%)

- 年が明け世界中で市場参加者が戻りつつあるなか、VN 指数は上昇して取引を開始した。
- 売り買いが拮抗しながらも指数は徐々に上昇していき、前場は堅調な推移を記録した。
- しかし、上げ幅は後場に入ると縮小していき、指数は一時的にマイナスに転じた。ただ、取引終盤に買いが戻り、辛うじて前日比プラスで取引を終えた。
- セクター別では、銀行、情報技術、保険セクターが上昇した。
- 156 銘柄が上昇、252 銘柄が下落、62 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 3.8%減の 13.2 兆ドンとなった。

VN30 指数も引け間近に上昇 (VN-30 +0.17%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、14 銘柄が上昇、13 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずであった。
- BID (+4.12%)、BCM (+3.27%)、MBB (+2.12%) の上げ幅が顕著だった。
- GVR (-3.74%)、SSI (-1.41%)、VNM (-1.28%) などが大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- DBC (+0.94%) は昨日午後、2024 通年の連結税引前利益が 8,570 億ドンに達し、税引後利益が目標を 5.5%上回ったと報告した。また、2025 年における税引後利益の目標は 1 兆 70 億ドン (+30% YoY) と設定した。
- VJC (-0.20%) が総額 2 兆ドンの社債発行に成功したことが公表された。期間は 60 ヶ月で利率は 11%、満期日は 2029 年 12 月 8 日。
- 外国人投資家は 920 億ドンの売り越しとなった。買い越し銘柄では FPT (+0.54%) がトップとなり、売り越しでは VNM (-1.28%) がトップとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。